

令和5年度 学校教育アンケートについて (報告)

1月17日～23日で、今年一年間の本校教育活動を振り返るためのアンケートを実施しました。ご回答にご協力くださりありがとうございました。結果の集約ができましたのでお知らせします。

保護者アンケート (回答率 61%)

※数字は「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の割合の合計 (%)
※矢印は昨年度比。上昇したものは↑、3ポイント以上上昇は↑↑、下降したものは↓、3ポイント以上下降は↓↓、同じポイントは一、80%を超えているものの数字に下線

【学校教育に関するアンケート】

- 学校は、お子さまにとって安心して過ごせる楽しい場所となっている。(92%↑↑)
- 学校は、あいさつする心や相手を思いやる心が育つように指導している。(93%一)
- 学校は、子どもの安全や事故防止に対して、適切な指導と対応が取れている。(92%↓)
- 先生は、わかりやすい授業をしている。(92%↑)
- 学校は、子どもの人権を尊重した指導を行っている。(93%↑↑)
- 学校は、いじめについて情報収集や対応及び未然防止など適切に取り組んでいる。(83%↑↑)
- 学校は、お子さまのことについて、適切に相談に応じている。(87%一)
- 学校は、学校の様子や通信等で積極的に情報発信を行っている。(89%↑↑)
- 学習参観の内容は、適切である。(89%一)
- 通知票は、お子さまの学力や達成度を適切に評価できるよう工夫されている。(80%↓)
- 学校の施設・設備は、学習環境面において整っている。(88%一)
- 学校は、子どもたちが安心して過ごせるような工夫や取り組みを行っている。(92% 新)
- 学校は、苦手なことやできないことにもチャレンジできるようにお子さまに寄り添った指導をしている。(77%↑)
- 学校は、タブレットPCなどICT機器の活用を積極的に行っている。(75%↓↓)
- 学校は、タブレットPC等の使用に関して、情報モラル教育を積極的に行っている。(76%↓↓)
- 学校は、中学校や地域、PTAと連携した取り組みを行っている。(90%↑↑)



【学力に関する内容】

- お子さまが学校でどのような学習をしているか把握されていますか。(72%一)
- ご家庭で、お子さまの宿題や自主学習について確認や点検をされていますか。(63%↓)
- お子さまはめやすの学習時間(低学年30分以上、中学年45分以上、高学年60分以上)程度学習をされていますか。(58%↑↑)
- ご家庭で、お子さまを含めて読書をすることを意識されていますか。(43%↓↓)
- お子さまは、自分で計画を立てて学習していますか。(43% 新)
- お子さまと会話する際に、なぜ?やどうして?などの理由や根拠を問うことを意識されていますか。(81%↑↑)
- お子さまは、家族との約束や社会的なルールなどを守っていると思っていますか。(89%一)
- お子さまは、夜9時までにテレビや携帯電話、ゲームをやめることができますか。(63%↓)
- お子さまは、放課後や休日などに外で遊んだりして体を動かしていますか。(63%↓)
- 保護者の皆様は、放課後や休日を利用して、お子さまと体を動かすことはありますか。(43%↓)
- お子さまは、給食や食事を楽しみにしていますか。(86%↑)

保護者アンケートの結果は以上ようになりました。「学校教育に関する内容」では、肯定評価(そう思う、どちらかと言えばそう思う)は、ほとんどの項目で80%を超えており、本校の取り組みについてほぼご理解いただくとともに、教職員の子どもへの関わりや対応について概ね肯定的に捉えていただいていると認識しております。そのなか、「学校は、お子さまにとって安心して過ごせる楽しい場所」、「人権を尊重した指導」、「いじめに対する取り組み」、「学校からの情報発信」の項目について、

大幅に向上しており、今年度の柱のひとつに「安心感」を掲げて取り組んできた成果と捉えており、
私たちが教職員の励みになります。その他「わかりやすい授業」や「こ小中連携の取組み」な
どの項目で昨年度より肯定回答が向上し、80%を超えていることも嬉しいことです。今後もさら
に充実させてまいります。

一方で、あいさつや子どもの相談体制については昨年度と同値、「子どもの安全や事故防止」、
「タブレットPCの活用や情報モラル教育」に関する項目などは昨年度から下降しています。
タブレットPCの利用頻度は年々上昇しており、活用の幅も広がってきたと認識しておりますが、
より一層学習での活用やその効果などについて研究を深めたいともいます。

また、「学力向上に関する内容」では、理由や根拠を意識させることや学習時間、食事面の捉え
に関しては改善されています。しかし依然として「テレビや携帯電話、ゲーム等の扱い」や体力
向上に関しては、伸び悩んでいます。また、読書への意識も低下しているのが気になることです。
学力と読書、体力との相関関係はあると言われておりますし、何より小学校段階で基本的な
生活習慣を守った生活リズムをつけて、体を動かすことは発達にもとても大切なことです。併せて、
小学生の発達段階を踏まえると「大人と一緒に取り組む」ことは子どものモチベーションが高まると
ともに、健やかな育ちに大切な要素であると考えます。保護者の皆様も、大変お忙しい毎日をお過ごし
とは思いますが、時々でも「一緒にやろうか」と声掛けしていただけるとありがたいです。

児童アンケート ※学力向上に関する内容は掲載していません。

- ※数字は「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の割合の合計 (%)
- ※矢印は昨年度比。上昇したものは↑、3ポイント以上上昇は↑↑、下降したものは↓、3ポイント以上下降は↓↓
- ※同じポイントは一、80%を超えているものの数字に下線

- 学校は安心して過ごせる楽しい場所である。(83%↑↑)
- あいさつすることや相手を思いやることをがんばっている。(85%↑)
- 通知票はわかりやすい。(91%↑↑)
- 先生は、いじめはいけないことだということや間違った行動にきちんと指導してくれる。(87%↑)
- 先生は、困ったとき相談にのってくれる。(82%↑)
- 地震や火災や大雨のときなど、どのように行動するとよいか知っている。(98%↑)
- 自分が苦手なことやできないことにもチャレンジするようがんばっている。(75%↓)
- 給食や食事は好き嫌いなく食べている。(72%↓↓)
- 田原中学校や地域、外部の方々や学ぶ機会や行事は楽しい。(90%↑↑)



児童アンケートでも、肯定評価の回答が概ね80%を超えており、良好であると考えます。保護
者同様に「学校は、お父さんにとって安心して過ごせる楽しい場所」が大幅に向上したことは大変う
れしいことです。また、今年度本校が積極的に進めている中学校との連携や外部
講師、地域人材・教材を活用した取組みへの評価も大幅に増加したことも、嬉しい
結果です。

ただ、「給食や食事に関すること」、「苦手なことへのチャレンジ」について80%を切
り、下降していることは残念な結果です。この点は教職員でしっかり検証し、次年度
の取組みに繋げてまいります。

今後も、子どもたちがこれからの未来を生き抜くために必要な力を付け、主体的
に活動できるよう教職員一同、今回の結果を受け止めて、次年度の取組みにつなげてまいります。

